

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	コロナ禍の為、地域との関わりを途切れないように感染対策を踏まえ職員は、取り組んでいるが、入居者様の地域とのつながりながら暮らし続けられる事が、コロナ禍と、どう向き合えばよいのか、課題である。	入居者様が地域の方と触れ合う機会(月3回のサロン会)などに参加できるようにしたい。また、コロナ禍以前は、ボランティアの方が訪問され演奏会などを再開できるように呼びかけを行い、入居者様に喜んでもらえる時間を増やす。	区長様より、百歳体操・元気サロン会の毎月情報を頂いているので、日にちの確認を行い、コロナ禍の状況を踏まえ、一人でも多くの入居者様に参加してもらおう。また、ボランティアの方の訪問の呼びかけを行う。	12ヶ月
2	13	コロナ禍にて同業者との交流が減っているため、独自の勉強会になっている。	さまざまな研修会や交流を増やしスキルアップに繋げたい。	研修案内やメールでの研修案内を見逃さず、職員間で話し合い、感染予防を行い、リモートなども活用し、参加する。	6ヶ月
3	35	集中豪雨や洪水等の水害によって道路がいつ冠水するか分からないので不安がある。	前日から避難できるようになると慌てず安全に安心して避難できるようしたい。	マニュアルはあるが、もっと法人と話し合い、公用車に何人乗車し、避難に、どの位時間を要するのか外部との協力のもと避難訓練を行う。	6ヶ月
4	49	コロナ禍にて入居者様も受診以外は外出する機会が減ってしまった。	コロナ禍が収まるまでは、庭先の散歩や草むしり季節を楽しんでもらうなど活動を増やし、コロナが落ち着きが見られたら外出の機会を増やす。	ドライブや航空祭・季節に応じて場所を検討し外出する。	12ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。